　　　　　　　　　　差押範囲変更（減縮）申立書

東京地方裁判所民事第２１部　御中

令和　　年　　月　　日

申立人（債務者）　　　　　　　　　　　　　　　　印

電話 　　－　　　　　－

FAX 　　－　　　　　－

債　権　者

債　務　者

１　申立ての趣旨

　　上記当事者間の御庁令和　　　年（ル）第　　　　　号債権差押命令申立事件

　の第三債務者　　　　　　　　　　（　　　　　　扱い）に対する債権差押命令

　について，

□　差押えを取り消す。

　□　金　　　　　　　　円を超える部分を取り消す。

　□　給料・賞与・退職金の差押範囲を各　　　分の　　　に変更する。

　□　別紙差押債権目録記載の範囲に変更する。

との裁判を求める。

* 本申立てに対する裁判が効力を生ずるまでの間，第三債務者に対し，支払その他の給付を禁止することを命ずる旨の決定をされたい。

（該当する□にレ印を記入してください。）

２　申立ての理由

添付書類（該当する□にレ印を記入してください。）

□　公的扶助（生活保護・年金等）受給証明書

□　給与明細書（申立前２か月分）

□　源泉徴収票（最新のもの）

□　課税証明書（非課税証明書）（最新のもの）

□　確定申告書（税務署の受領印のある最新のもの）

□　預金・貯金の各通帳のコピー（過去１年分の取引明細が分かるもの）

□　世帯全員及び同居者全員の住民票（申立前３か月以内に取得したもの）

□　陳述書（申立人の印鑑を押したもの）

□　家計表（申立前２か月分）

□　上記の各添付書類のコピー（各２通）

□ 申立書副本（申立人の印鑑を押したもの）